

2023年7月20日  
西日本旅客鉄道株式会社

## 第4種踏切の『踏切ゲート-Lite』開発について

中国統括本部では、リスクの高い第4種踏切の安全対策として、踏切ゲートの設置を進めてきました。このたび、更なる安全性の向上を図るため、『踏切ゲート-Lite』を開発しました。今後、準備出来次第、設置を進めてまいります。

### 1. 踏切ゲート-Lite のねらい

歩行者等が通行する踏切に対象を限定することで、通行者が扱いやすかつ、施工もしやすいゲートとしながらも、踏切ゲートと同じレベルで通行者に一時停止・左右確認を促すこと。

※歩行者等：歩行者および自転車、二輪車

### 2. 踏切ゲート-Lite の主な特徴

- 〈常時遮断式〉 通行者の踏切横断時のみ開閉
- 〈半自動式〉 遮断桿の操作後は自動的に元位置に戻る（自閉）
- 〈通行方法〉 踏切進入時には垂直方向に持ち上げて通行  
踏切退出時には水平方向に押しして通行  
または垂直方向に持ち上げて通行
- 〈設置位置・形状〉 踏切一旦停止線付近に設置

設置イメージ図



### 3. 導入計画

2023年度に25踏切程度の設置に向けて、道路管理者と協議を進めて順次設置していく。

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に8番、9番、11番、に貢献するものと考えています。

